

2003.3/29-30

氷ノ山ブン回し

コース：流れ尾根 - 山頂小屋泊 - 氷ノ山越 - 大平頭 - ホードー杉 - 大久保

天候：晴れ

メンバー：大塚賢一・石野美輝郎・横小路利郎・大本誠一・田代恵子

テーマ：北斜面でのフィックスロープ訓練（北ア越中沢岳の下り想定）



四つん這いになりながらの急登



ワイ＼(^O^)/わーい



流れ尾根斜面の霧氷林

29日 晴れ

5:30 姫路ポプラ出発

8:00 氷ノ山国際スキー場着

ゲレンデはクローズしているが斜面には雪はたっぷりと残っている。

シールでゲレンデ斜面をサクサクと登っていく。昨日まで雨、気圧の谷も今朝に通り過ぎたようで山頂方面にはガスがかかっているが青空も見えだしてきた。

8:45 1030m アイゼン

リフト最終地点からはいつも通りアイゼンを付けてスキー引っ張りに装備変更

9:10 1120m 流れ尾根到着

ガスが急速に上がって東尾根上部や山頂付近は霧氷に覆われている。

流れ尾根の取り付け地点はいつも通り大きな雪尻に阻まれて早速ここでの遊びが始まる。

ザイル確保でピクストックのWアックスで雪壁に挑むのだが、いかんせん雪が昨夜の雨のために緩んでいてまな



ゲレンデをシール登行



さあ、カッ飛ばぞ～



雲一つ無い山頂



クマの足跡

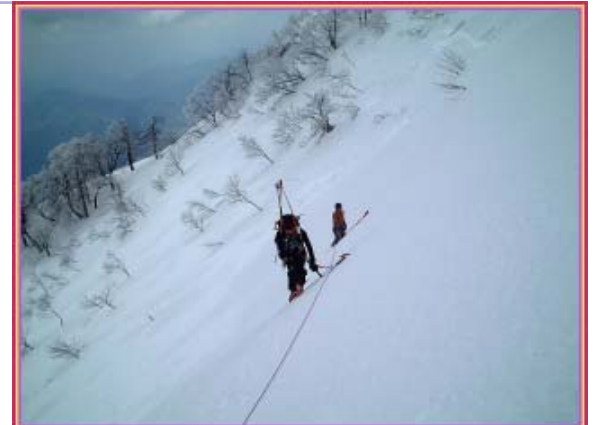
らない。

流れ尾根をいくらも進まないうちに手の平ほどの熊の足跡を見つける、それは稜線へまっすぐに続いていた。もう冬眠から目覚めて餌を探し求めているのであろう、熊鈴を鳴らしながらスキー担ぎで装備変更に忙しい。

山頂直下の北斜面にさしかかる頃、スコップを取り出し確保場所を作り今回のテーマであるフィックスロープ張りに取りかかる。石野氏がスタンディングアックスピレーをして私のリードをサポート。ピックストックのワッパをアイゼンの出っ歯を引っかけて外して中間支点と終点のポールに仕立てる。準備OKとなり早速に私がロープにデジジーを引っかけて谷に飛び込むが、きちりと止まってくれた、完璧である。

訓練終了してそのまま石野氏とコンティニアスで山頂小屋へ入って行くと他のパーティーは異様な目で見ていた。我々の格好は12本歯アイゼン・ピックストック・ピッケルとハーネスに8環やATCやピナをぶら下げておまけにロープで結んでいるのだから当然であろう。みんなが一階で昼食タイムをしている時にガチャガチャ音を立てて2階に上がって行くのだから異様と見られて当たり前であろう。

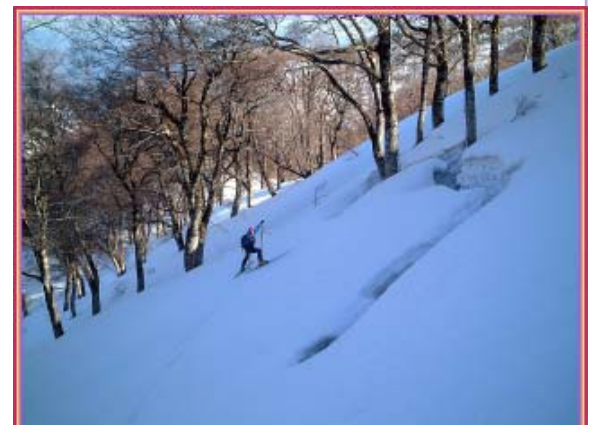
2階でゆっくりと昼食を済ませて早速に南斜面のお気に入りのブナ林に滑り込みに行く。霧氷もすっかり落ちてしまっているが雪質は上質でみな満足顔である。次に前から狙っていた三の丸と山頂の稜線から東に張り出す小尾根を1100m位まで滑り込み南斜面に取り付き山頂小屋へ戻る。3本も滑れば足もパンパンで、最後は山頂から北斜面へ1本と十分に堪能した一日であった。



北斜面での訓練



フィックスロープ張り訓練



でっかいクレバスが・・・



コンティニアスで行く



北斜面へカッ飛ぶ



北壁甌岩を振り返る



横さんをエスケープに・・・



馬の背からホードー杉へ・・・

30日 晴れ

5:30 起床

ゆっくりめの朝食を済ましよいよブン回しである。朝一のカチカチの北壁へ突っ込んで甌岩をうまくトラバース、続いてブナ林までのヤセ尾根を究極のボーゲンスタイルでクリア・・・私はブン回しのコースはこの2つが最も変化がありとても面白く気に入っている。

ヤセ尾根で横さんが急斜面に足をすくわれて少々滑落して木に当たって止まった。身体は無事のようにだが動きがとれない模様なので石野氏と私がザイルで上と下からエスケープする。石野氏の投げたロープをすかさず8の字に結び横さんのスワミベルトのピナに装着し、彼のピッケルを外し雪面にぶち込んでインクノットでセルフピレーをとり救助完了。これも色々な訓練をしてきたおかげでスムーズに行えるようになった。

再び氷ノ山越えまで滑り込み、スキー引っ張りで赤倉山をトラバースすると布滝から突き上げている小ピーク1264mまではスキー担ぎで急な登下行が続く。そこから滑り込み再び引っ張りで大平頭小屋までは装備変更の連続でよいトレーニングである。大平頭小屋からは東へ滑り込み1171mピークから北斜面の小ブナ林へと滑る、次に東のホードー杉へと突っ込んで行くのだが杉と杉の間が狭くておまけに急斜面でなかなかやっかいて楽しいところである。沢の音が大きくなって来る頃には雪も少なくなり滑りは終了である。道中で天然ワサビを収穫する。

最下部の国際スキー駐車場にザックをデポ。私はランニングシューズに履き替えて高原のさわやかな春風を浴びランニングハイになりながら車を取りに行く。

帰りの道中では真新しくできた「天女の湯」に浸かりながら氷ノ山に乾杯、そしてありがとう・・・。



三の丸稜線からの滑降ライン



ブナ林へカッ飛ば私



白いキャンパスに縦横無尽に描く